

GHGプロトコルスコープ1、2、3排出量（2023年度）

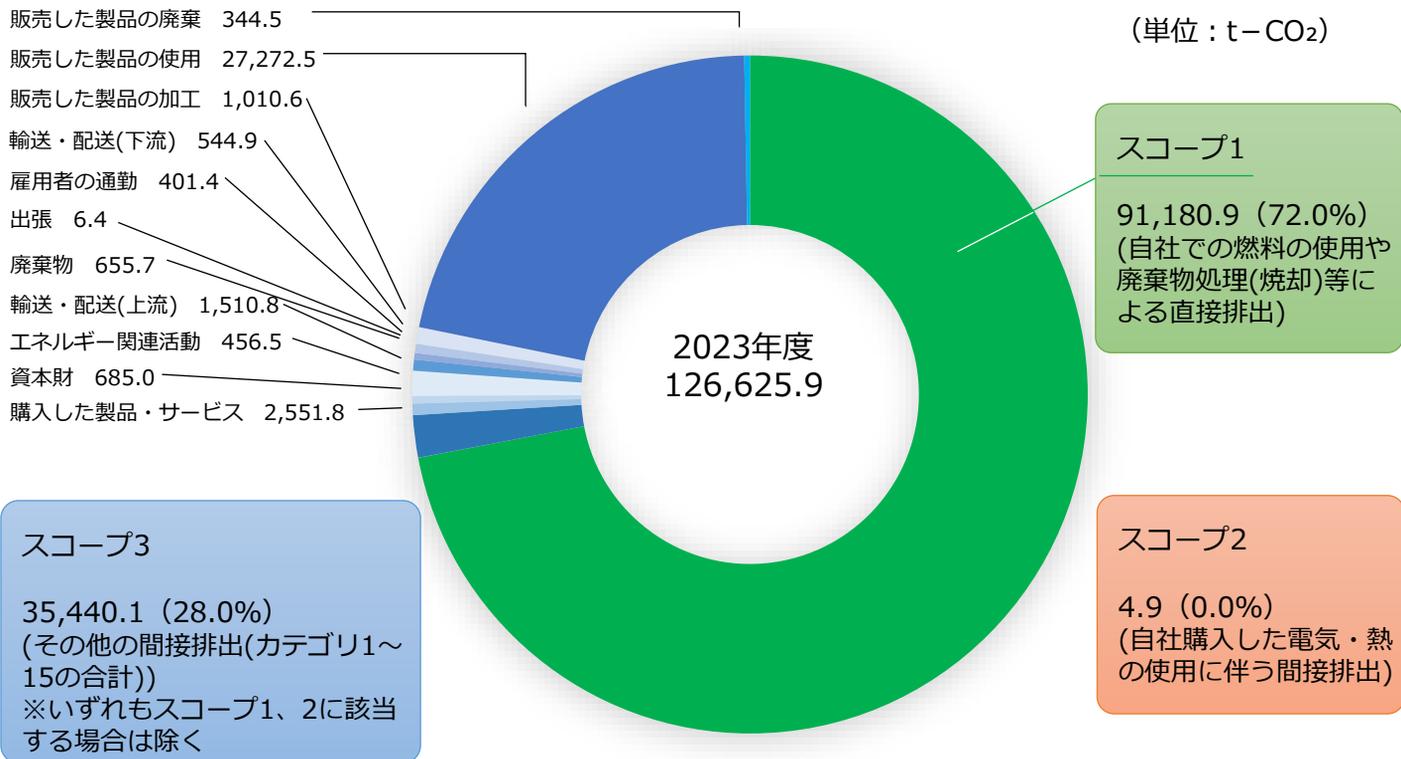
株式会社京都環境保全公社
2024年9月

バリューチェーンを含むサプライチェーンGHG排出量（自社における直接的な排出だけでなく、自社事業における間接的な排出も対象）を把握するために、国際的な算定・開示基準であるGHGプロトコルに基づき、スコープ1、2、3のGHG排出量を算出しました。

スコープ別のGHG排出量はスコープ1が72%で最大となり、その大部分（70.4%）は廃棄物の焼却処理由来によるものでした。

スコープ2については、2023年7月からすべての事業所で再エネ電力を使用したことにより、GHG排出量の大幅な削減に繋がりました。

スコープ3のGHG排出量は全体の28.0%を占め、カテゴリ別では販売した製品の使用（RPF）が最大の21.5%に上りました。



スコープ	算定方法	2023年度	
		排出量 t-CO ₂	比率 %
スコープ1 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出	燃料使用量や廃棄物処理量等に原単位を乗じて算出	91,180.9	72.0
スコープ2 自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出	電力使用量に原単位を乗じて算出	4.9	0.0
スコープ3 その他の間接排出 (カテゴリ1~15の合計) *いずれもスコープ1,2に該当する場合は除く		35,440.1	28.0
スコープ1,2,3合計 サプライチェーン排出量		126,625.9	100

スコープ		算定方法	2023年度	
			排出量 t-CO ₂	比率
カテゴリ1	購入した製品・サービス	部材ごとの調達総額に原単位を乗じて算出	2,551.8	2.0
カテゴリ2	資本財	設備等投資総額に原単位を乗じて算出	685.0	0.5
カテゴリ3	スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	燃料・電力使用量に原単位を乗じて算出	456.5	0.4
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	積載量・距離に原単位を乗じて算出	1510.8	1.2
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	廃棄物発生量に原単位を乗じて算出	655.7	0.5
カテゴリ6	出張	旅費総額に原単位を乗じて算出	6.4	0.0
カテゴリ7	雇用者の通勤	支給総額に原単位を乗じて算出	401.4	0.3
カテゴリ8	リース資産（上流）	対象外		
カテゴリ9	輸送、配送（下流）	積載量・距離に原単位を乗じて算出	544.9	0.4
カテゴリ10	販売した製品の加工	対象製品の年間加工総重量に原単位を乗じて算出	1,010.6	0.8
カテゴリ11	販売した製品の使用	対象製品の年間販売総重量に原単位を乗じて算出	27,272.5	21.5
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	製品総重量に原単位を乗じて算出	344.5	0.0
カテゴリ13	リース資産（下流）	対象外		
カテゴリ14	フランチャイズ	対象外		
カテゴリ15	投資	対象外		

* 信頼性向上を図るためにカーボンフリーコンサルティング株式会社にスコープ3排出量の検証業務を依頼した。